

## 五臺山東窟寺縁起

当山開基は孝徳天皇大化年間(六四五年ごろ)播磨国法華山一乗寺の文殊菩薩の夢のお告げにより、法道仙人が開いたことが始まりとされている。山号の五臺山の由来は五層の岩盤からなる当山が中国の霊場五臺山に克似していることによるものとされている。その東面の岩窟に東代一流の聖教を納め鎮護国家の道場と志した寺として東窟寺と名付けられた。一三九〇年ごろ、永盛法印により天台宗風を伝えられ、戦国時代は波多野家庇護の元、四十九院伽藍を誇り栄えた。天正七年明智光秀の兵火にかけ、悉く諸堂は焼失したが、本尊御脇立ちは難を逃れたと伝えられている。江戸時代に入ってから藤山藩主松平家の御帰依により再興、以来青山公に至るまで代々の御祈願所として庇護を受けた。

明治一八年に雷火により観音堂・本尊を焼失するが、二年後には再建し、本尊十一面観世音菩薩像二体は、現丹波市神池寺及び京都毘沙門堂門跡寺院から譲り受け、以来秘仏として丁重にお奉りしている。

近年に至っては霊園・葬祭会館を新設。令和三年の三十三年に一度の開扉法要に併せて、檀信徒等の奉仕により新観音堂を落慶。山上の観音堂より御本尊は遷座頂き、より身近に手を合わせられる存在となった。

古くより、岩谷の観音さん、晦(つごもり)観音さんと信仰され、毎月末にお参りすると、財祿を授かる(お小遣いに不自由しない)と言われている。

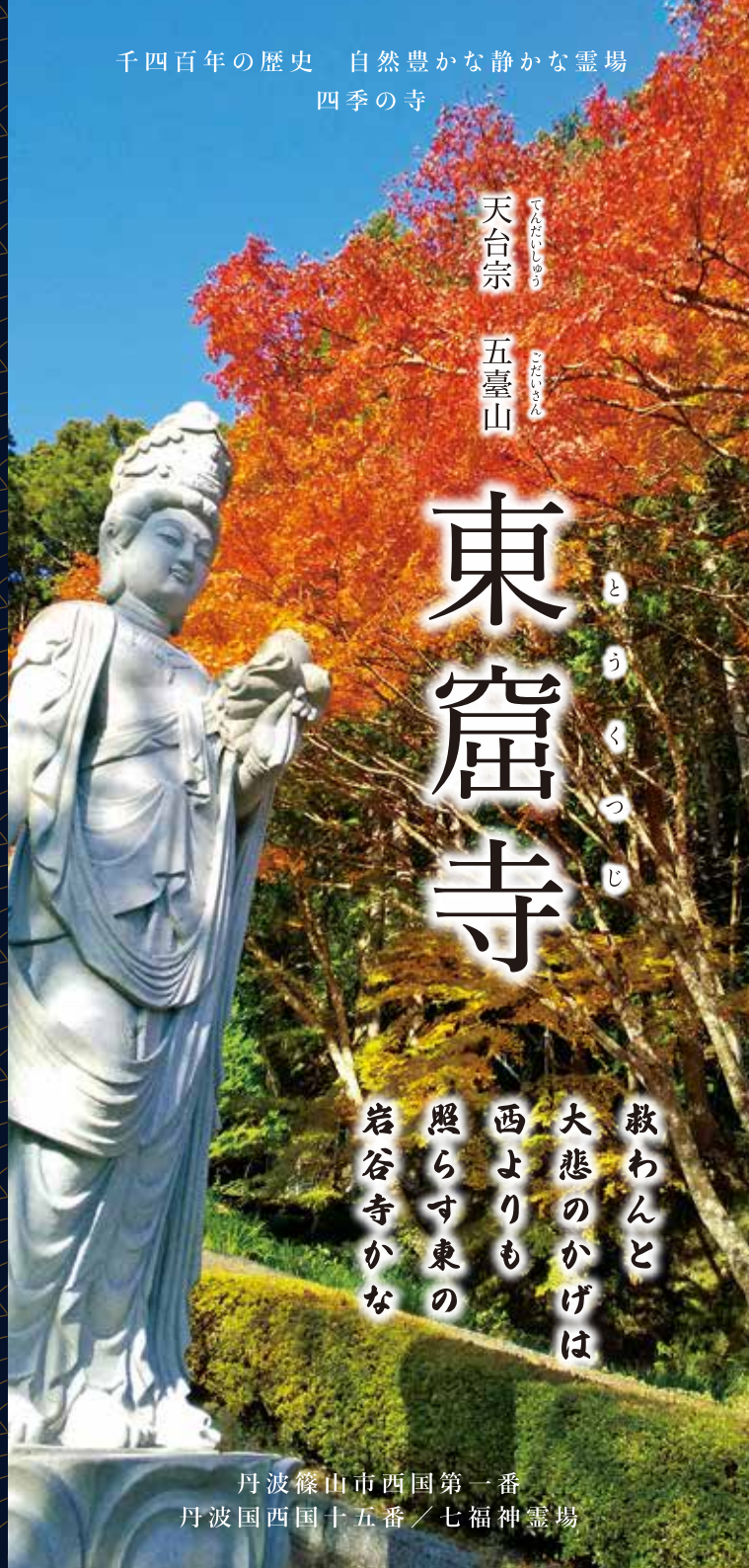
## 年間行事

一月一日	年賀式
一月初寅	毘沙門天祭
三月	春彼岸
七月	観音祭り・千日会
八月盆	盂蘭盆会(柵経)
八月十五日	施餓鬼会
九月	秋彼岸
十一月二十三日	大般若祈願法要 (一般参詣自由・諸祈願受付)
十二月第一日曜	先祖供養
十二月三十一日	大晦会・除夜の鐘(一般参詣自由)



大般若祈願転読法要の様子

千四百年の歴史 自然豊かな静かな霊場  
四季の寺



てんたいしゅう  
天台宗

ごたいざん  
五臺山

# 東窟寺

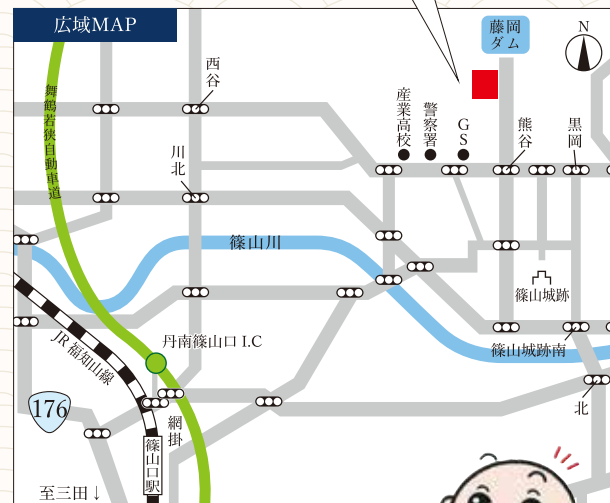
とうくつじ

救わんと  
大悲のかけは  
西よりも  
照らす東の  
岩谷寺かな

丹波篠山市西国第一番  
丹波国西国十五番／七福神霊場

## 交通案内

- ・JR 福知山線篠山口下車 バス15分篠山本町下車4Km徒歩
- ・JR 福知山線篠山口下車 タクシー20分(約8.5Km)
- ・舞鶴若狭自動車道丹南篠山ICより約20分  
(中国道池田ICより約1時間)



天台宗 五臺山 東窟寺  
東窟寺霊園  
東窟寺会館

〒669-2369  
兵庫県丹波篠山市藤岡奥161-4  
TEL:079-552-2081  
FAX:079-552-5394  
<https://toukutuji.com/>  
検索「東窟寺」



## 東窟寺霊園案内

自然に恵まれた心安らぐ静かな聖地



当寺院では一般墓地・樹木葬(永代供養墓)を運営しております。  
一般墓地永代使用料:1聖地8万円(2~4聖地※が一般的です)  
年間管理費1,000円/1聖地  
(※1聖地=約畳半畳分)



樹木葬(個別永代供養墓):  
一区画33万円 3霊まで納骨できます。  
寺院管理、安心の永代供養墓です。  
合祀の永代供養墓地もあります。  
(HPに詳細があります)

ご相談・ご質問はパンフレット裏面連絡先まで  
お願いいたします。御見学いつでも歓迎いたします。

## 東窟寺会館案内

小さなご葬儀・家族葬に最適な葬祭会館です。和室・ホール、炊事場完備。  
葬儀以外に研修等でもご使用可能です。  
御問い合わせ時は会館使用についてとお電話下さい。



会館全景



ホール



和室

## 東窟寺の仏さま

### 十一面観世音菩薩(秘仏)



観音堂内宮殿に二体の秘仏十一面観世音菩薩像を奉安している。三十三年に一度開扉される(直近開扉は令和三年)。晦観音として親しまれ、月末のお参りをすると財禄に与る。丹波篠山市西国一番霊場。御朱印(「大悲殿」あり。)

### 夢枕のお告げ薬師如来



一八〇〇年ごろ丹波篠山市二階町の医者岡村貞庵の夢枕に、自宅で奉っていた薬師如来さまがお立ちになり、東窟寺に帰りたいと仰せになった。驚いた貞庵は住職に相談したところ、この薬師如来像が明智光秀の兵火に襲われた際に、密かに難を逃れ、岡村家へ伝えられていたものであると知った。このお告げにより薬師如来さまは東窟寺にお戻りになられ、今も当時のままお奉りされている。この如来像は室町時代作と伝わる木座像である。

### 七百年越しの成就 釈迦三尊像



状態ていわば製作途中のような状態であったことが判明し、このような状態で奉納されることは、他に類を見ない珍しいことであるとされている。当時の再現をすると下地のみの仕上げになるため、今回の修復にあたっては、当時為し得なかった彩色の仕上げまで施すことで、七百年越しの成就と呼べる修復となった。



境内入口の池を渡ったところに延命観世音菩薩像。坂を上ると本堂、観音堂と続く。さらに山道を六百m上ると、旧観音堂、十王楼がある。山内は自然に囲まれており、都会の喧騒とは無縁の静かな時が流れる。四季折々の景色が楽しめる。



### ▲ 観音堂

檀信徒の尽力により東窟寺令和の大事業として本堂裏手に令和三年十一月に落慶した観音堂。秘仏十一面観世音菩薩をはじめ諸仏を奉安する(東窟寺の仏さま参照)建物は新築ながら、堂内の扁額や什器などは明治の再建当時の物も多い。毎年秋に大般若祈願法要を執り行う。大晦日には大晦会を執り行う。



### ▲ 元三大師(角大師)

東窟寺に古くから伝わる元三大師(角大師)の木版から印刷したお札。比叡山横川の元三大師堂との縁により当寺に伝わる。魔除け(疫病封じ)として家の入り口に貼る。(希望者には配布あり。)



### ▲ 毘沙門堂

本堂横、毘沙門堂にて毘沙門天・薬師三尊・二童子不動明王等を奉る。



### ▲ 撫でガエル

縁起の良い大きなカエルの置物。頭を撫でるとご利益あり。自然豊かな境内ではモリアオガエルも生息する。

### ◀ えびす神

七福神霊場としてえびす神を奉安。御朱印あり。

## 東窟寺 境内案内



### 十王楼の閻魔大王

山上旧観音堂までは藤岡木もれ日の森として里山ハイキングコースとなっている。各所に歴史と自然を感じられる。山上まで徒歩20分程。

## 東窟寺 四季



春の境内



冬の境内



初夏の境内